

真庭配送センターの取組が「物流環境特別賞」を受賞

CO₂ 排出量 44 トン/年、ドライバー拘束時間 5 時間 40 分/人を削減

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦）は、このたび一般社団法人 日本物流団体連合会主催「第 21 回物流環境大賞」※¹において「物流環境特別賞」を受賞しました。

「物流環境大賞」は、環境保全の推進や環境意識の高揚などを図り、物流の健全な発展に貢献した企業などを一般社団法人 日本物流団体連合会が表彰する制度で、今回の「特別賞」受賞は昨年、当社が岡山県真庭市に開設した「真庭配送センター」※²において、大手飲料メーカー様工場で使用する各包材輸送事業者のさまざまな包材を同センターに集約し、当社車両が一括してメーカー様工場に輸送・納入するとともに、その復路でメーカー様の製品を引き取ることにより、実車率の向上・待機時間の解消を図り、CO₂ 排出量の削減と輸送効率化を実現したことが評価されたものです。

※¹ 一般社団法人 日本物流団体連合会「物流環境大賞」紹介ページ：<https://www.butsuryu.or.jp/public/environment/>

※² 2019 年 4 月 9 日報道発表：<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/tdnet/1690773/00.pdf>

■受賞した取り組みについて

テーマ：「物流センター活用・集約化による空車走行解消による CO₂ 削減・効率化」

【背景/課題】

各包材輸送事業者が、大手飲料メーカー様工場に包材を納入(復路は空車)。当社が、工場の製品引き取り輸送を実施(往路は空車)。実車率は低く、さらに午前中の入荷集中による車両待機時間の増加も課題となっていた。

【取り組み概要】

新たに設置した集約拠点「真庭配送センター」で、各包材輸送事業者の包材を一括し、当社車両で工場へ輸送・納入。復路で製品を引き取る輸送に転換した。

【効果】

- ・ 車両台数削減による CO₂ 排出量を 44 トン/年削減
- ・ 輸送効率化(運行距離・時間)による ドライバーの拘束時間を 5 時間 40 分/人削減
- ・ ドライバー拘束時間短縮による働き方改善の推進および法令順守基盤の強化

KONOIKE グループは、地球環境問題が人類共通の課題であることを認識し、持続可能な社会の実現に寄与するため、グループを挙げて環境問題に取り組んでいます※³。今後も、さまざまな活動を通じて、環境負荷の低減に努めてまいります。

※³ KONOIKE グループ統合報告書 2019 P59-61 で環境の取り組みをご紹介します

https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/ir_material_for_fiscal_ym1/72275/00.pdf

(報道関係者様お問い合わせ先) 広報室 古屋、^{じくはら}竺原 tel:03-3575-5753

■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証 1 部	代表者	代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880 (明治 13) 年 5 月	会社設立	1945 (昭和20) 年5月30日
資本金	1,723百万円 (2019年3月31日現在)	従業員数	約25,000名 (連結) (2019年3月31日現在) ※臨時雇用者数を含む
売上高	294,158百万円 (連結、19年3月期)	営業利益	10,976百万円 (連結、19年3月期)
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		

以 上